



Saitama City Citizen Activity Support Center

News Letter

さいたま市市民活動サポートセンター ニュースレター



団体ロッカー・メールボックスをご活用ください

市民活動サポートセンターに登録している市民活動団体は、活動に使用する資料等を保管するために、「団体ロッカー」を利用することができます。また、団体宛ての郵便物を受領するため（私書箱機能）に、「メールボックス」を利用することができます。※現在団体ロッカー（大）の空きはありません。

団体ロッカー・メールボックスの利用（可能）数・期間

貸出数：1団体につき、団体ロッカー1ヶ所／メールボックス5ヶ所まで（原則）

期間：利用を開始する日の当該年度の末日まで（最長→4月1日から翌年3月31日まで＝1年間）

区分	サイズ	使用料（1ヶ所）		総数
		1月分	1年分	
団体ロッカー（大）	幅45cm×高さ100cm×奥行41cm	620円	7,440円	70個
団体ロッカー（小）	幅45cm×高さ50cm×奥行41cm	310円	3,720円	140個
メールボックス	A4普通紙（約2000枚収容可能）	100円	1,200円	312個

団体ロッカー・メールボックスの利用申請期間

利用しようとする日（＝利用〔開始〕日）の属する月の1月前の1日から利用するまでの期間

（例）「10月1日から31日までのいずれかの日から利用しようとする場合」→9月1日から申請可能です。

但し、1月の申請開始は1月1日～3日が休館日にあたるため1月4日となります。

なお、団体ロッカー及びメールボックスの利用を希望する登録団体が多いことから、毎月2月頃に、4月以降（翌年度分）の団体ロッカー及びメールボックスの事前調整を行っています。（ホームページ「さポット」にてお知らせします。）

さいたま市市民活動サポートセンターフェスティバルを開催しました



令和7年3月1日(土)・2日(日)に市民活動サポートセンターフェスティバルを開催しました。

48団体にご参加いただき、ブース部門では展示、販売、ワークショップを、ステージ部門では音楽、パフォーマンスなど盛りだくさんの2日間でした。

今年度は令和8年3月7日(土)・8日(日)で開催予定です。詳細はホームページ「さポット」にてお知らせします。

市民活動のために役立つ講座・イベント

■ 印刷作業室活用講座

サボセンの印刷作業室でできることを紹介します。

日時 6月12日(木)

①10:00～10:45 ②11:00～11:45

対象 市民活動団体、NPO法人 **定員** 各回10名

会場 市民活動サポートセンター印刷作業室

申込 窓口・電話・FAX・メールにて受付中(先着順)
参加希望回(①～②)をお伝えください

■ パソコン講座超初級編 (Word編)

Wordを初めて操作する方向けの超初級編講座です。

日時 7月15日(火) ①9:45～10:45 ②11:00～12:00
7月23日(水) ③17:00～18:00 ④18:15～19:15

対象 市民活動団体、NPO法人 **定員** 各回3名

会場 市民活動サポートセンターパソコンコーナー

申込 5月27日(火)10:00～窓口・電話・FAX・メールにて
受付(先着順)
参加希望回(①～④)をお伝えください

■ 夏祭り飾りde活動紹介パネル展 参加団体募集中!

夏祭りをテーマにした飾り付けで活動内容を展示し、PRしませんか。

日時 7月19日(土)～8月10日(日)

対象 市民活動団体、NPO法人 **定員** 10団体

会場 市民活動サポートセンター中央ラウンジ

申込 5月27日(火)10:00～窓口・電話・FAX・メールにて
受付(先着順)

■ パソコン講座超初級編 (Excel編)

Excelを初めて操作する方向けの超初級編講座です。

日時 8月5日(火)①9:45～10:45 ②11:00～12:00
8月20日(水)③17:00～18:00 ④18:15～19:15

対象 市民活動団体、NPO法人 **定員** 各回3名

会場 市民活動サポートセンターパソコンコーナー

申込 5月27日(火)10:00～窓口・電話・FAX・メールにて
受付(先着順)
参加希望回(①～④)をお伝えください

手をつなごう! さいたま市民活動夢マルシェ!

市民活動の紹介として市民団体、福祉団体による販売や、ものづくり体験、ステージ発表など地域×行政×市民の協働、交流が目的です。

・日時	第16回	令和7年5月18日(日)	10:00～16:00	予備日	5月25日
	第17回	令和7年10月5日(日)	10:00～16:00		10月19日
	第18回	令和7年11月23日(日)	10:00～16:00		11月30日

・会場 浦和駅東口駅前市民広場(駅前ロータリー横)

・協力出展団体

公益財団法人埼玉デザイン協議会(サデコショップ)、埼玉県骨髄バンク推進連絡会
ニャンズときどきワンコ、クルド文化教室、前地つきいち、いちごハウス、一般社団法人 Nagi
公益財団法人陶芸文化振興財団宮原教室、さいたま市市民活動サポートセンター

・協賛出展企業

生活協同組合コープみらい、ワールドファミリー株式会社、株式会社小針乳業
生活クラブ生活協同組合埼玉、生活協同組合パルシステム埼玉、株式会社靖和

主催 さいたまつくりての輪 共催 さいたま市 協力 東日本旅客鉄道株式会社 浦和駅

お問い合わせ さいたまつくりての輪 tsukuritenowa@gmail.com

第17回の市民活動団体インタビューでご紹介するのは、「手話パフォーマンスグループ Sign」です。手話という言葉のすばらしさを音楽との融合で発信されています。

「手話パフォーマンスグループ Sign」について教えてください。

私たちのグループは結成11年目。現在10代から80代までのろう者と聴者9人で構成され、主に歌の歌詞を手話に置き換えたパフォーマンスや絵本の手話劇などを行っています。その際必ずろう者に手話訳を確認していただき、アドバイス&修正を重ねてから練習に入っています。またイベントや学校、幼稚園にもボランティアとして出向き、手話を使ったゲームや遊びを通して手話の楽しさを伝えています。少しでも手話という言葉に触れるきっかけにでもなってくれたらと活動しています。



これまでの活動で「活動していて良かった」ことで印象に残っているエピソードがあれば教えてください。

中学校などで手話に触れる瞬間に立ち会えることが「やって良かった」と感じる瞬間です。生徒たちが最初はおもいおもいしていたのに、手話ダンスを自分のものとして生き生きと踊り、手話で話しかける様子を見ると、手話に親しむきっかけを提供できたことを嬉しく思います。イベントでは、観客が手話表現を真似してくれたり、「良かった」と手話で伝えてくれる姿を見るたび、手話が言語として認識されていると実感し、活動の充実感を感じます。さらに、小さなお客様がニコニコしながら私たちの真似をしてくれると、「この子にちゃんと伝わっている！」と感じ、手話が自然に受け入れられる未来を確信します。手話を見たことがない方々が驚き、感動してくれる場面を見ると、少しでも手話を伝えられたことが嬉しく、これからも活動を続ける励みになります。



2025年はスポーツの分野では「デフリンピック」※が開催される年です。エンタメ（文化）、福祉分野に携わっているSignさんにとって、他分野のコミュニティと協働していくことについてどう考えていますか？

2025年のデフリンピック開催に向け、他分野との協働は非常に重要です。エンタメや福祉分野がスポーツ分野と連携することで、障害者スポーツの認知度を高めることができます。また、福祉分野では、参加しやすい環境作りやサポートが求められます。実際にサッカー手話応援の際に感じていますが、異なる分野が協力し合うことで、障害を持つ人々に対する理解と支援の輪が広がり、より包括的な社会を実現できると考えています。

※デフリンピック…デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会です。



入会するための条件や方法を教えてください。

入会の条件は、手話に興味があり、音楽が好きなことです。手話ができなくても問題ありませんが、パフォーマンスがメインなので、手話は自己学習が必要です。分からないことは、メンバーやろう者と話し合って解決していますので、ご安心ください。練習は水曜午前中で、イベント出演やボランティア活動にも参加できることが条件です。入会希望の方は、まず練習を見学に来てください。連絡方法はメールまたはお電話をお願いします。（急な練習日変更がある場合があります。）

今後の活動の目標を教えてください。

今後の活動では、ボランティア活動に力を入れたいと考えています。特に、表情だけでなく指先からも感情を伝えられるように精進します。高齢者施設でのボランティア活動もしたいです。手話の楽しさを伝えるため、一緒に手を動かしたり、子供達がかわいい手で真似する様子を見たりしたいです。学校や幼稚園、保育園へのボランティア依頼が増えることを願っています。笑顔を届けられるように、努力していきたいと思っています。

【お問い合わせ先】 手話パフォーマンスグループ Sign

E-mail : kirakira-sign@jcom.zaq.ne.jp

TEL : 080-6607-4220 (三角)

助成金情報

♥地域助け合い基金／公益財団法人さわやか福祉財団【市民活動全般】

概要 この基金は、「制度から取り残されてしまった人たちにも」「必要な時に、必要な支援が届くように」として「地域のつながりが深まるように」、金額は少額ですが、迅速にきめ細かな支援を行っている特色ある基金です。

助成金額 助け合い活動の開始、維持、発展のため具体的に必要とする額。ただし、上限は15万円。

助成対象

・共生社会を推進するための助成として、地域で暮らす人同士の助け合い活動を対象とし、新たに団体を設立する場合のほか、新たに活動を広げる場合やコロナ禍に対応して特別な助け合い活動を行う場合も含まれます。
・高齢者、子ども、認知症、障がい、生活困窮の方々、刑余者、外国人、ケアラーの支援他、分野は問いません。ただし、日本国内の活動に限ります。

応募期間 常時受付

【応募方法】 必要書類をメールまたは郵送

【問合せ】 公益財団法人さわやか福祉財団

電話：03（5470）7751 FAX：03（5470）7755

E-mail：mail@sawayakazaidan.or.jp



♥社会福祉助成金／公益財団法人みずほ福祉助成財団【福祉】

概要 公益財団法人みずほ福祉助成財団では、社会福祉の向上に寄与することを願って、社会福祉に関する諸活動に対して助成を行います。主として、障がい児者の福祉向上を目的とする事業や研究を対象に助成します。

助成金額 20万～150万かつ事業総額の90%以内

助成対象 国内において3年以上の継続した活動実績がある非営利法人、任意団体、ボランティアグループまたは研究グループ（5人以上で構成）

応募期間 2025年4月21日(月)～2025年7月4日(金)

【応募方法】 申込書を当財団事務局へ郵送

【問合せ】 公益財団法人みずほ福祉助成財団

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービルディング TEL：03-5288-5905



※詳細・最新の情報は、問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。



所在地

〒330-0055 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町11番1号 コムナーレ9階

電車の場合

JR「浦和」駅下車、東口より徒歩1分

バスの場合

「浦和駅東口」バス停下車、徒歩1分

「浦和駅西口」バス停下車の場合は、浦和駅東西連絡通路をご利用ください

自動車・バイクをご利用の場合

市民活動サポートセンター専用の駐車場はございません。近隣の有料駐車場又は公共交通機関をご利用ください。なお、当センターがあるビルの地下に、さいたま市営「浦和駅東口駐車場」がございます（有料）。

自転車をご利用の場合

市民活動サポートセンター専用の駐輪場はありません。近隣の有料駐輪場又は公共交通機関をご利用ください。なお、最寄りの駐輪場は、当センターがあるビルの地下2階にございます（有料）。



お問合せ さいたま市市民活動サポートセンター（受付時間 9 時～21 時 30 分）TEL:048-813-6400 FAX:048-887-0161